

まんさく

第269号

発行
特別養護老人ホーム光寿苑
まんさく編集委員会
和賀郡西和賀町湯本30-76-1
TEL 0197-84-2526
koujhu@fancy.ocn.ne.jp
題字 元理事長 太田 祖 電



①避難誘導訓練 ②避難スペース確保訓練 ③消防団員と連携訓練 ④達増知事から激励賜る体験



ウイルス感染疑者対応訓練のため職員も防護服装着!

岩手県総合防災訓練が西和賀で開催され、光寿苑は避難所への避難誘導訓練が主となった。コロナ禍のため、入居者役は家族会役員の方々、避難対応には湯本地区民や消防団の方々の協力を頂いた。有事の際、外部の協力が欠かせないことを再認識した場となった。

≪関連記事リム夏とク夏≫

コロナ陽性者対応も訓練に含んで
県総合防災訓練 in 西和賀
《令和3年9月4日 8時より》

令和3年度の光寿会共通のキーワードは『知る』

【生活】「③栄養士・調理部門」 ☆高橋奈々子☆

法人キーワード	2020年度共通のキーワードは『観る』	
テーマ	毎日「おいしく」食べて頂く。	
2020年度の最終的イメージ	理想半期	目標 ① お年寄りの声を聴き、食べたくなるような食事を提供する。
		目標 ② 美味しく、安心・安全な食事づくりをする。
	具体的な取組み (いつ、何を、どのように)	<p>①1日1回はお年寄りの傍に行き、笑顔で声掛けをする。お年寄りの声を厨房に持ち帰る。</p> <p>②現場協力の元で嗜好調査を行い、メニューに多く取り入れる。</p> <p>③全ての作業は『最終的にはお年寄りの元へ行く』ことを忘れず、衛生面等も含め、『あたり前のことをあたり前に』作業する。</p> <p>④彩り・味付けを工夫し、普通食からソフト食まで美味しく、お年寄りが安心して食べて頂けるような食事づくりをする。</p> <p>⑤看取り期のお年寄りに、食べたい物を少しでも食べて頂けるよう皆で協力する。</p>
2020年度の検証	<p>*毎日、ソフト食の提供を続ける事ができた。</p> <p>*お年寄りへの声掛けは、できている人もいれば、できていない人もいた。</p> <p>⇒少しでもいいので、1日1回はみんなが声掛けできるようにしたい。</p> <p>*お年寄りへの個別対応については、引き続き対応する事ができた。</p> <p>*行事食や季節に合ったおやつを提供することができ、お年寄りたちにも喜んで頂けたので良かった。</p>	



法人キーワード	2021年度共通のキーワードは『知る』	
テーマ	季節感を感じてもらえるような食事を提供する。	
2021年度上半期のイメージ	理想像	目標 ① お年寄りの声を聴きながら、食事から季節を感じて頂けるようにしたい。
		目標 ② 美味しく、安心・安全な食事づくりをする。
	具体的な取組み (いつ、何を、どのように)	<p>①1日1回はお年寄りの傍に行き、笑顔で声掛けをする。お年寄りの声を厨房に持ち帰る。</p> <p>②外に出る事が難しい状況の中で、苑の中でも少しでも季節を感じて頂けるような献立や食材を取り入れる。</p> <p>③全ての作業は『最終的にはお年寄りの元へ行く』ことを忘れず、衛生面等も含め、『あたり前のことをあたり前に』作業する。</p> <p>④彩り・味付けを工夫し、普通食からソフト食まで美味しく、お年寄りが安心して食べて頂けるような食事づくりをする。</p> <p>⑤看取り期のお年寄りに、食べたい物を少しでも食べて頂けるよう皆で協力する。</p>

その人を知ろうとするとところから関わりは豊かに

【総括】「②地域密着型部門(ひなたぼっこ・湖畔の宿)」 ☆刈田光太☆

法人キーワード	2020年度共通のキーワードは『観る』		
2020年度 の最終的 イメージ	テーマ	お年寄りの人間性 (内面) を観る。	
	理想像	目 標 ①	目 標 ②
		①お年寄りの表情や気持ちの変化を観る力を養う。	②地域とのつながりを保てるよう情報を得ていく。
具体的な取組み (いつ、何を、どのように)	①お年寄りとの日々のコミュニケーションの中で変化に気づき、職員間で共有する。 ②外見から観える所だけでなく、お年寄りの心や感情を観る事ができるようにコミュニケーションをとる。 ③できる事・できない事を見極め、お年寄りの意欲を引き出す。	①お茶会メンバーからの再開要望が多く、再開に向けて準備をする。 ②運営推進会議委員、民生委員、保健委員等と連携を図る。 ③地域行事へ積極的に参加する。	
2020年度 の検証	<p>『目標①について』 *機嫌の悪いお年寄りと接する時、あえて近づかない方が良かったと思っていたが、会話を重ねていくとどんどん話がはずんで、機嫌も良くなっていくケースも学んだ。</p> <p>『目標②について』 *利用者家族・民生委員・ひなたぼっこ職員で、訪問や面談など、情報共有し連携を図れた。 *お茶会は2021年5月より再開を目指したい。</p>		



法人キーワード	2021年度共通のキーワードは『知る』		
2021年度 上半期の イメージ	テーマ	日々変わっていくお年寄りの状態の変化を知る。	
	理想像	目 標 ①	目 標 ②
		①言葉だけではなく、行動や表情からお年寄りの感情や変化を読みとる。	①地域とのつながりを保てるよう情報を得ていく。
具体的な取組み (いつ、何を、どのように)	①お年寄りとの日々の関りの中で気づいた点を職員間で共有し、対応等検討していく。 ②お年寄りの『～したい』の希望を話していただけるような雰囲気作り。 ③お年寄りから助言を頂きながらの畑作り。 ④家族からの情報や職員の気づきを誰が見ても分かる記録の取り方。	①お茶会⇒5月9日より再開。 上野々地区サロン⇒4月13日より再開。 ※お茶会、サロン共に昼食の提供はせず午前からの開催。 ②サロン担当職員は定期交代制(1年)とし、ひなたぼっこことひなたぼっこ職員の顔を覚えていただく。 そして、地域においても気軽に声をかけていただけるような関係作りに努める。	

『今生より往く』



自分の事は自分で…を前向きに貫いた偉人

高橋ハツエさん【98歳】

“やることは自分で!”と頑張る姿や娘さんの面会をとて楽しみにされており、お会いできた時の嬉しそうな笑顔が忘れられません。いつもニコニコ、家族思い・他人思いのやさしい方でした。

《高橋ゆきえ、三浦とし子》



透き通る自慢のお肌と朗らかさは永遠に…

藤田 テツさん【87歳】

感情豊かで、そして微笑みの美しい方でした。そのお顔で旦那様の吹くハーモニカを見守っている姿が愛らしく…。音楽に合わせたしなやかな手踊りも印象的でした。約12年、ありがとうございました。

《田村初恵、小林幸子》

お志、おかげさまでした

寄附

- ★ 澤藤 みよ子 様 [盛岡市]
- ★ 匿名 様 [西和賀町]
- ★ 匿名 様 [北上市]
- ★ おおしま商店 様 [湯本]
- ☆ 石川 洵 様 [上野々]
- ☆ 高橋 レイ子 様 [上野々]
- ☆ 菅原 康悦 様 [滝沢市]
- ☆ 小松 陽子 様 [秋田県]
- ☆ 高橋 廣志 様 [花巻市]
- ☆ 高橋 美智子 様 [上野々]
- ☆ 三上 正 様 [盛岡市]
- ☆ 東海林 保 様 [下左草]

寄贈

訪問

- 県防災総合訓練参加協力 (9/4)
- ★ 家族会…9名、地域等…8名
- 運営推進会議 (8/26)
- ☆ 外部運営推進委員 … 11名
- ★=光寿苑、☆=ひなたぼっこ

感染予防は手洗いから

☆手洗いチェッカーにて手洗い後の要チェック!



…で、ですよねえ…苦笑

あらら苑長、洗い甲斐ありますねえ笑

想。。。災害を捉える ~大阪から発信をいたします⑤~

伝えるということ【防災士・松岡由美】

3.11以降に防災士資格を取得し、防災精神とあり方を世間に発信している大阪府の松岡由美さん。今回は『相手に伝わる事の大切さ』を丁寧に語って下さいます。では、どうぞ ☆

伝えるということ

高齢部門で相談員をしていた頃に出会った利用者のAさん。「母と娘」と呼ぶか合うユーモアも持ち合わせた程、気心知れた関係性の中で、日々の関わりを紡いで下さっていました。

「母」からは、「人として」「ひとりの女性として」の在り様を沢山聞かせてもらいました。忘れられない言葉は教知れず。その中でも一番心に残っているのが、「言葉は足し算と引き算を間違えたら大変。余計な一言、足らない一言。どっちも気をつけないといけないのよ。」

この言葉を胸に、講演でも、この一言が；この表現が；誰かを傷つけるかわしれない；と、最大限「言葉」には細心の注意を払っています。時として「あの表現は配慮が足りなかったのではないか；」と悶々とすることがあります。

同時に、この気持ちも忘れてしまったら、人前に立って伝える資格はないとも思っています。

「伝えたことではなく、伝わったことか伝えたこと」

微妙な言葉のニュアンスです。深い意味があり、とても意識しています。こちらが伝えたか、たこが、相手には違って伝わっていることか往々にしてあります。こちらの伝え方の問題なのか、相手の受け取り方や状況に何らかの理由があったのか；。

しかし、「相手に伝わったことか、伝えたこと」なんだと肝に銘じて言葉を扱うように私はしています。

NPOの法人プラスアーツ代表の方が講演の中でこうお話されました。

「防災情報には強度がいる。人から人へと伝えるもの。心に響かないと届かない。」

と。この大切なメッセージを胸に刻み、防災の重要性について、心が包んで手渡しする「想いで伝えてきました。」

先月ご依頼頂いた防災講演の受講者さんの感想の中に、こんなお言葉がありました。

「防災研修がイメージして

いた内容とは、まったく違ってました。よい意味で裏切られたすばらしい講演だったと思います。；ありかたにお言葉とお気持ちを受け止めつつも、このお言葉を目にした時に、防災の専門家ではない私に防災講演を担う意味を、自分自身振り返る機会となりました。専門家ではない私の小手先の知識や技術をただ伝えたところで、届かないし、人は動かない。防災を考えることは、命と暮ら

しを考えること。

だからこそ、なぜ、防災の取り組みをする必要性があるのか？取り組みをしないことで、どんな結果待ち受けているのか？救える命と健康を守るために、できることを一つずつする。そして、できないことを知る；。

「防災士である前に、社会福祉士として、人として；」という立場と信念を持って、そのことの意味と重みを「伝えるように」届けたいと思います。

(福) ライフサポート協会 (続)

防災士/社会福祉士
松岡由美

今月の登録者の方々
15名様です♪



朝晩めっき肌寒くない...「ひなたぼっこの日常」



右 菜園にて精を出し...
左 お茶会では物づくり

第3回『運営推進会議』(8月26日)

△運営委員11名 職員6名出席△

職1 ひなたぼっこ利用に関する

件です。新規利用予定の方で、
家族が緊急事態宣言地域在住
なので、盆帰省で接触さ
れているケースです。一刻も
早いサービスマン利用の希望が家
族からありましたが、しばらく
く容態等観察を終った日取りか
らお話し利用を開始させて頂
いております。また、利用に
あたってご家族より見学希望
がありました。ご遠慮頂き
ました。

委1 緊急事態宣言地域とは言え、
これから利用予定の施設見学
等、ご本人と一緒にできなか
ったことは大変ショックだっ
たと思うのですが...

職2 介護事業所としてようせざ
るを得ない状況のもと、その
ためにも懇切丁寧な説明に務
めているところがございます。
ただ、傷つけてしまっている
ことも実際あると思っております。
職1 湖畔の宿入居のAさんが転

倒して肩を亜脱臼した事故報
告を致します。①事故概要の
説明②事故発生時の対応(受
診まで)③事故の原因分析の
説明④再発防止策の説明等。
委2 事故発生時における振興局
への報告基準を教えてください。
職2 光寿会では、受診等により
公的費用負担を伴うケースに
関しては報告しております。
委2 県への報告は、入院やお七
くなりになった場合等と認識
しておりますか？

職2 光寿会では、入院までしな
いケースであっても、事故に
係る賠償保険の加入によりそ
れに連動すると判断した場合
に報告事項としております。
また、この事故報告は大変中
味が細かくなっていますか、
ここをしっかりと取組む姿勢
と説明責任の重要性を認識し
ているためであります。

委3 受診対応だけでも3ヶ所も
回る等大変でしたね。これが
在宅ですと、ここまで懇切丁寧
な対応を誰かできるか...と。
委女 報告と対応、ご苦勞様です。

職1 湖畔の宿入居のAさんが転

倒して肩を亜脱臼した事故報
告を致します。①事故概要の
説明②事故発生時の対応(受
診まで)③事故の原因分析の
説明④再発防止策の説明等。
委2 事故発生時における振興局
への報告基準を教えてください。
職2 光寿会では、受診等により
公的費用負担を伴うケースに
関しては報告しております。
委2 県への報告は、入院やお七
くなりになった場合等と認識
しておりますか？

職2 光寿会では、入院までしな
いケースであっても、事故に
係る賠償保険の加入によりそ
れに連動すると判断した場合
に報告事項としております。
また、この事故報告は大変中
味が細かくなっていますか、
ここをしっかりと取組む姿勢
と説明責任の重要性を認識し
ているためであります。
委3 受診対応だけでも3ヶ所も
回る等大変でしたね。これが
在宅ですと、ここまで懇切丁寧
な対応を誰かできるか...と。
委女 報告と対応、ご苦勞様です。

へよひついでそよ
『共生の場』

【光寿苑の新しいお仲間をご紹介します】



高橋 里子 さん

*西和賀町
*大正のお生まれ



久保ミツ子 さん

*西和賀町
*昭和のお生まれ

第95回

第95回目は、家族会役員さん参加協力頂いた『岩手県防災総合訓練』の様子。入居者役を演じた家族会役員さんの成りきりぶりに達増知事も声を掛けずには…(〜♪ 下3枚は、コロナ感染の疑いのある方を想定した救急搬送訓練。



元気です！家族会♪



イラスト：1000

乙女心っていつになられても存在していいものであり、そんな場面に遭遇すると、思わず嬉しくなってしまうのは何故だろう…。これが身内だったりすると、「何着た。ていいから早くしてよ！」等となる事もあるかも…。本日は喜ばしい事

どうせおいらはヤン衆かもめ

北島三郎唄 なみだ船

第88回

丸田善明

自然法爾

「じねんほうに」

この時期になれば、お盆の過ぎた頃から始まる北海道のお寺の報恩講を思い出す。

ノケ寺3日間。初日は午

後2時に始まって最終日の昼前に終わり、昼食を頂いて次のお寺に移る。ノケ寺に講前後、クケ寺ほどローテーションを組め勤める。

この巡講に招待されて何度か出掛けただけ、あるお寺で、

▽布教使さんは盛岡からお出でと聞きまいたが、岩手の方は初めてですね。

と言われたことがある。北島三郎の唄「どうせおいらはヤン衆か

もめ」を聴いていて、ふと「ヤン衆」とは「南部出身の季節労働漁民の蔑称」という誰かの文章を思い出した。

南部地方は、夏に北東から吹く季節風による冷害の常襲地帯であったから、人々は季節労働者となって各地に働きに出た。北海道がニシン漁で賑わった頃は、農民もにわか漁場に出掛けたものだ。南部衆は真面目だと重宝されたが、反面、軽くも見られた。「ヤン衆」が蔑称だと言うのはそんな所からくるのかな。私も北海道では、「ヤン衆坊主」だったのかも知れない。

おわりに

9月は秋彼岸の季節。寺参りや墓参りする人の姿を多く見かける。

「彼」に「向こう側」の意味があり、世間では「あの世」とこの世が繋がる時上等の解釈もあり、先祖供養の要素も色濃く出ている。

実際に彼岸には、私たちが迷いの世界（此岸）を超えた清浄なる仏様の世界という意味があり、お彼岸は此岸の迷いから解放される時とも言えるのかも知れない。

彼岸と此岸の間を隔てる川（三途の川等とも）が存在している。この川の正体こそ、私たちがの中に

ある煩惱である。大きな心を清浄なる大地で繋がるのだと言えよう。

大切な人から清浄なる心を賜う時

